

吉田町の概要と 防災対策の取組

静岡県吉田町

吉田町の概要



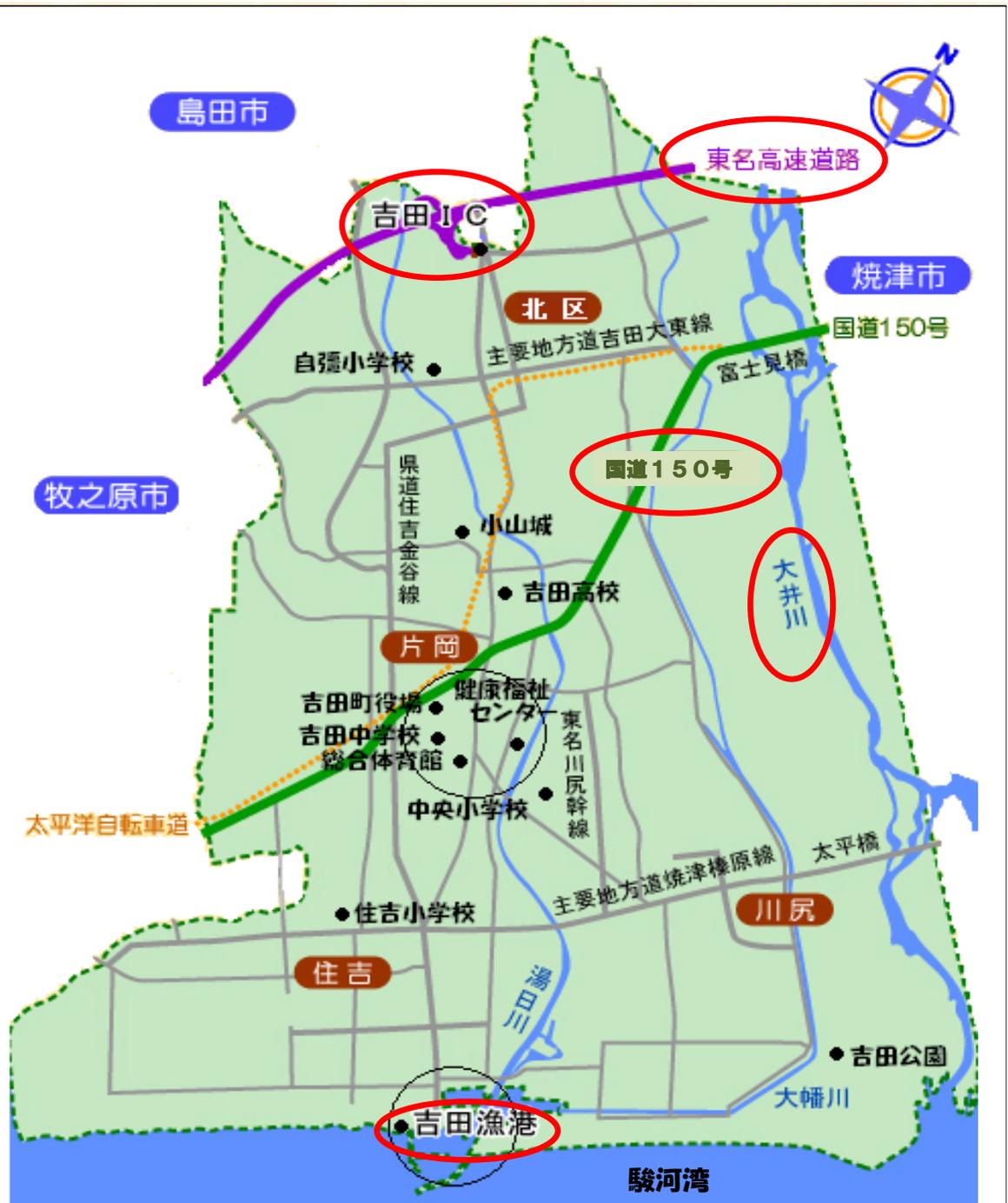
人口 **30,532人**
(平成24年3月末日現在)

面積 **20.84km²**

東西 **6.5km**

南北 **6.9km**

吉田海岸 **約5km**



吉田町の防災対策

想定する地震は

一刻も早く町民様に津波の危険性を周知するため
町独自で津波ハザードマップを作成しました。

1000年間隔単位で起こる地震の例として、1498年明応東海地震の津波がある。津波ハザードマップ作成で用いる想定地震としては、明応の津波が適当である。

発生間隔	設定波源
100年に1度位の間隔で生じる津波	中央防災会議の想定東海+東南海津波、もしくは安政東南海津波
1000年に1度位の間隔で生じる津波	明応東海地震津波(1498年)

津波浸水計算の特徴

吉田町の地形を 10mメッシュ で表現し、求めた明応地震の震源モデルを与えて数値計算を行った。

- (1) 標高データとして、航空レーザ測量成果を活用。
- (2) 河川を地形に反映。海岸の防潮堤を考慮。
漁港の周りの防潮堤は壊れるとした。
- (3) 地震発生時の潮位として平均的な満潮位を設定。
- (4) 解析項目
 - ・最大浸水深
 - ・海域での第一波到達時間
 - ・陸域での津波到達時間
 - ・水位の時間変化グラフ
 - ・津波到達高さ

想定浸水深・浸水面積

浸水深	浸水面積	浸水区域の割合
0～1m未満	0.87km ²	吉田町面積 20.84km ² <u>41.3%</u>
1～2未満	1.66km ²	
2～3未満	1.72km ²	
3～4未満	1.73km ²	
4～5未満	1.38km ²	
5～6未満	0.86km ²	
6～7未満	0.25km ²	
7～8未満	0.11km ²	
8～9未満	0.03km ²	
9～10未満	0.002km ²	
合計	<u>8.61km²</u>	

※浸水区域人口：約17,000人(55%)

「防災行政ラジオ」希望する全世帯へ無償配布 「FMコミュニティ放送吉田中継局」整備

目的: 災害時における防災情報及び緊急を要する行政情報等の迅速かつ的確な情報伝達手段の充実を図る。

- 機能:**
- ① 吉田町防災行政無線(同報無線)を受信する簡易型戸別受信機。
AM・FMラジオを聞いていても強制的に同報無線に切り換わる。
 - ② コミュニティ放送である「FM島田」の放送を町内全域で受信できるように吉田中継局(3/29開設)を整備したことで、災害支援情報や大井川流域のコミュニティ情報が受信できる。



9,800台配備

今後の取り組み

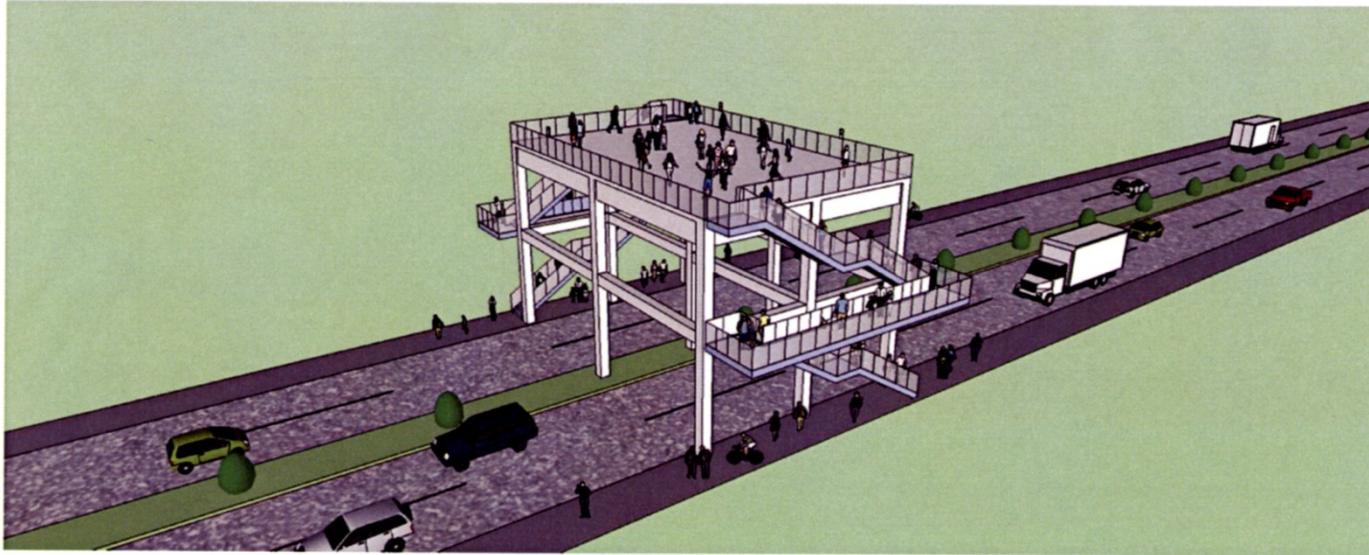
最重点課題を津波防災対策におくこととし

「津波防災まちづくり」を強力に推進！！

1. 「津波避難計画(案)」の策定
2. 「津波防災まちづくり計画(仮称)」の策定
 - 町の津波防災(減災)にかかる中・長期ビジョンを明確化
3. 津波避難施設(津波避難タワー等)の建設
 - 平成24年度⇒津波避難タワー 3基建設
4. 避難路の整備、漁港周辺の津波堤の整備
防災公園や防災拠点の整備等・・・
5. 都市防災総合推進事業を活用したハード・ソフト
両面による減災対策
6. 海岸防潮堤・河川堤防嵩上げの要望

※平成24年度当初予算 津波防災等事業 978,559千円

津波避難タワー イメージ図 (あくまでもイメージです！)



イメージパース1

イメージパース2

